

メッセージアウトライン

日付	2012年2月5日
単元	士師記・ルツ記
テーマ	選び
タイトル	ギデオンの選び
テキスト	士師記6:1-40
参照箇所	
暗唱聖句	ヨシュア1:9 or イザヤ41:10

導入	今日は、ヨシュアさんが亡くなってからのイスラエルのお話です。
I	<p>イスラエルの人たちは主に助けを求めました</p> <p>A. イスラエルの人たちはほかの神々を拝むようになりました</p> <p>B. イスラエルの人たちはミデアン人に苦しめられました</p> <p>C. イスラエルの人たちは主に助けを求めました</p>
II	<p>主はギデオンを選ばれました</p> <p>A. ギデオンは酒ぶねの中に隠れて仕事をしていました</p> <p>B. 主はギデオンに声をかけられました</p> <p>C. ギデオンは主の命令に従い偶像を破壊しました</p>
III	<p>主はギデオンにしるしを与えました</p> <p>A. ギデオンが兵士を募集するとたくさんの人が集まりました</p> <p>B. ギデオンは神様に「羊の毛をぬらして下さい」としるしを求めました</p> <p>C. ギデオンは再度神様に「羊の毛だけをぬらさないで下さい」としるしを求めました</p>
結論	ギデオンは主に選ばれていることを確信しました
適用	<p>1. 神様はギデオンを選ばれたようにあなたを選ばれました。選ばれていることに感謝しましょう。</p> <p>2. 神様は、あなたを選びあなたを通して何かをしようとしておられます。神様の導きは聖書の御言葉やお祈りによって知ることが出来ます。聖書を読むことやお祈りをするを続けましょう。</p> <p>3. 奉仕をするときに、自分の力ではとても出来ないと落ち込んだことはありませんか。無力で弱い私たちを選んで下さった神様は必ず共にいて私たちを支えて下さいます。神様に信頼できるようにお祈りしましょう。</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2012年2月12日
単元	士師記・ルツ記
テーマ	神の戦い
タイトル	ギデオンと300人
テキスト	士師記7:1-23
参照箇所	
暗唱聖句	イザヤ41:10 or 申命記28:2

導入	今日のお話はギデオンがミデアン人と戦うお話です。そしてこの戦いでは武器を使いません。武器を使わず戦うってどんなことでしょうか？
I	<p>ギデオンはミデアン人との戦いのために兵隊を集めました</p> <p>A. ギデオンが兵隊を募集すると大勢の人が集まりました</p> <p>B. 神様は兵隊の数が多すぎると、ギデオンに言いました</p> <p>C. ギデオンは神様から言われて300人の兵隊で戦うことにしました</p>
II	<p>ギデオンはミデアン人の陣地に偵察に行きました</p> <p>A. 神様は、戦いの前に敵の陣地に入ってその話を聞いてみなさいと言われました</p> <p>B. ギデオンは偵察に行って、敵がイスラエルを恐れていることを聞きました</p> <p>C. ギデオンは神様に感謝をしました</p>
III	<p>ギデオンは神様に言われたとおりに戦いました</p> <p>A. ギデオンと300人の兵隊は、角笛とたいまつを持って戦いました</p> <p>B. 敵は同士討ちをはじめました</p> <p>C. ギデオンは戦いに勝利しました</p>
結論	ギデオンは300人でミデアン人に勝利しました
適用	<p>1. ギデオンたちは少ない人数で敵に勝利しました。私たちクリスチャンも、学校などでは少数です。でも人数が少なくても、神様が共にいて下さるならば、勝利者となれます。勝利者となるようにお祈りしましょう。</p> <p>2. 戦いに勝ったのは、ギデオンやイスラエル人が強かったからではなく、神様が命じられたことに従ったからでした。神様に従うことが出来るようにお祈りをしましょう。</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2012年2月19日
単元	士師記・ルツ記
テーマ	誘惑 神の力
タイトル	サムソンの力
テキスト	士師記13:1-16:31
参照箇所	
暗唱聖句	箴言1:10 or マタイ26:41

導入	今日は、イスラエルの人たちがまたもや、自分たちが作った神々を拝む罪を犯した。そんな時代のお話です。神様は、イスラエルをペリシテ人が征服するにまかせたので、四十年間もその支配下に置かれることになりました。
I	サムソンはイスラエルを救う者として誕生しました A. サムソンの誕生は天使によってもたらされました B. サムソンは髪の毛を切らずに育ちました C. サムソンはイスラエルで一番強い人になりました
II	サムソンはデリラの誘惑に負けてしまいました A. サムソンの強さの秘密をデリラは何度も聞き出そうとしました B. サムソンは何度も聞かれるので力の秘密をデリラに話しました C. サムソンの力の源である髪は切られてしまいました
III	サムソンは神の力を頂いて敵を倒しました A. サムソンの髪の毛は少しずつ伸びてきました B. サムソンは神様に力を与えて下さるようにお祈りをしました C. サムソンは死ぬときに多くのペリシテ人を道連れにしました
結論	サムソンはイスラエルを敵から救いました
適用	1. サムソンは神様を信じないペリシテ人の女の人と仲良くなり、誘惑され神様の力を奪われてしまいました。私たちも誘惑に負けてしまわないように、いつも神様から力を頂きましょう。 2. 昔は特別な目的のために特別な人に聖霊が注がれましたが、今はすべての人に注がれています。求める者には聖霊が与えられ満たされます。神様は私たちがいつも聖霊で満たされることを願っています。聖霊の満たしを祈りましょ
備考	



メッセージアウトライン

日付	2012年2月26日
単元	士師記・ルツ記
テーマ	祝福
タイトル	ルツ
テキスト	ルツ1:1-4:22
参照箇所	
暗唱聖句	詩37:5

導入	今日のお話はルツという女の方が登場します。ルツは神様を愛し、人を愛して正しく生活をしました。神様はこのような人を祝福して下さいます。
I	<p>ルツはまことの神様を知りました</p> <p>A. ルツはモアブに住んでいたのもので本当の神様を知らなかった</p> <p>B. ルツはモアブに移り住んだイスラエルの人と結婚しました</p> <p>C. ルツは新しい家族から本当の神様のことを聞きました</p>
II	<p>ルツに試練が与えられました</p> <p>A. ルツのご主人が亡くなってしまいました</p> <p>B. ルツは残された女三人で苦しい生活をしていました</p> <p>C. ルツは自分の国を離れて、知らない国に住むことになりました</p>
III	<p>ルツに祝福が与えられました</p> <p>A. ルツが落ち穂拾いに導かれた畑は、親戚の畑でした</p> <p>B. ルツは結婚することができました</p> <p>C. ルツに「オベデ」という男の子が与えられました</p>
結論	神様はルツを祝福されました
適用	<p>1. ルツはナオミと一緒にいて神様を知ることが出来ました。私達もナオミがルツに神様を伝えたように、近くの人に神様のことを伝えることが出来るようにお祈りをしましょう。</p> <p>2. 神様に頼り生活するならば、神様は必ず守って下さいます。いつも神様に信頼し頼ることが出来るようにお祈りをしましょう。</p>
備考	

